

BUSINESS REPORT 2022

# 第84期 報告書

令和3年4月1日 ▶ 令和4年3月31日

 日東ベスト株式会社  
NittoBest





株主の皆様には、平素より格別のご高配、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

第84期（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）は、新型コロナウイルス感染症が引き続き大きな影響を残し、感染拡大の都度、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の適用・解除が繰り返される1年でありました。

また、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催は、疲弊した日本を鼓舞するものになりましたが、経済活動の十分な活発化にはつながっておらず、特に外食市場においては、営業時間の短縮のみならず事業縮小や閉店など厳しい状況が続いております。

当社は、高度な品質の実現をこれまで以上にスピードアップするために、新たな組織体制を構築してスタートいたしました。「コロナによる変化への対応、コロナからの回復」を念頭に、ウィズコロナでの経済活動の復活とステークホルダーの皆様への満足の実現、企業価値の持続的な拡大に努めてまいります。

引き続き株主の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

塚田 莊一郎

### ● 当連結会計年度の概要

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、多くの地域で緊急事態宣言等が繰り返し発出されたこと等から、経済活動に停滞が見られました。9月末には緊急事態宣言が解除され景気回復への期待もありましたが、その後第6波の発生から本格的な回復には至っておらず、オミクロン株や新たな変異株の出現から新規感染者数は下げ止まっており、依然として予断を許さない状況が続いております。

食品業界におきましても、外食産業等は前年と比べ回復傾向にあったものの本格的な回復には至っておらず、併せてテレワークの浸透等による喫食シーンの変化や原材料価格・原油価格・電気料金等の高騰もあり、経営環境は厳しさを増しております。

このような環境のなかで、当社グループにおきましては、お客様と従業員の安全確保を第一とし、市場環境変化への対応を行いながら、販売力の強化、お客様のニーズを捉えた商品開発、お客様への迅速な対応に努めてまいりました。また、原材料価格・原油価格・電気料金等の高騰により、商品の価格改定を実施しております。

その結果、当連結会計年度における売上高にしましては、外食分野が前年同期比で増加したこと等から、497億4千6百万円（前年同期は488億9千7百万円）となりました。

利益面に関しましては、原材料価格上昇等の影響が続いているものの、売上の増加や経費の抑制等により営業利益は8億4千3百万円（前年同期比13.5%増）、経常利益は9億8百万円（前年同期比0.2%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、6億7百万円（前年同期比13.3%減）となりました。

事業部門の区分別の売上高は、次のとおりであります。

#### 【冷凍食品部門】

396億5千5百万円（前年同期は381億7千6百万円）となりました。

#### 【日配食品部門】

75億1千8百万円（前年同期は74億4千4百万円）となりました。

#### 【缶詰部門等】

25億7千2百万円（前年同期は32億7千6百万円）となりました。

※当社グループは「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 令和2年3月31日）等を当連結会計年度の期首から適用しております。

この結果、当連結会計年度における売上高については、前連結会計年度と計上基準が異なるため、前年同期比（%）を記載せずに説明しております。

### ● 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら経済活動を回復させていくことが求められておりますが、依然として同感染症収束の見通しが立たないこと、資源価格やエネルギー費の高騰、ウクライナ侵攻の影響等、引き続き不透明な状況が想定されます。

食品業界におきましては、少子高齢化等による社会構造の変化や業態を超えた競争の激化、異物混入防止や放射能・アレルギーへの対応も含めた安全・安心な食の提供、環境問題への対応や持続可能な社会に向けての取り組み等、企業に求められる社会的責任は増大してきていることに加え、同感染症による影響の他、原材料価格や製造コスト、物流コストの上昇が懸念されること等からより一層厳しい状況となっております。

当社グループでは、このような環境変化へ対応するとともに、お客様ニーズの収集に努めて顧客満足を推進し、品質の維持向上と安全・安心な商品の安定的な供給体制の維持・強化、そのための検査・分析能力等の更なる充実を図り、グループ全体の企業価値の向上と持続的な成長に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 安全・安心、顧客満足のための品質保証体制の充実

## 品質保証本部の新設

令和3年度より、新たに品質保証本部を発足いたしました。

安全・安心への取り組みを強化する目的で、品質を担保する業務をすべて集約しました。

具体的には、品質保証部、品質管理部、検査管理部の3つの部を柱に、顧客満足の提供に力を入れております。

また、令和4年度は、安全性を保証し認証するシステムであるFSSC22000のシステム認証を全工場取得に向けてプロジェクトを結成して取り組んでまいります。

より高度な品質の実現に努めてまいります。

## 検査・分析による安全性の検証

当社検査管理部では、現在保有機器の電子顕微鏡や自動免疫蛍光測定装置等の高度な機器に加え、令和3年度には、デジタルカメラを搭載した顕微鏡のマイクロ스코ープを導入し、さらに高度な分析が可能になりました。

安全性の検証及びお客様のご指摘に対応した迅速かつ正確な分析・検査を行ってまいります。

そのほか、食品衛生上最も重要である食中毒菌等の微生物はもちろんのこと、アレルギー物質や食品添加物の検証も継続しております。



マイクロ스코ープ

## 異物混入防止の取り組み

お客様に危害を与えるリスク回避策として、製造工程で発生のある可能性がある異物や、原材料において、特に農畜産原料に付着している骨片、夾雑物等を完全に除去するために、最新鋭の検査機器の導入を図っております。また、工場内で存在する機器や道具の材質をリストアップし、点検の強化を行っております。

農畜産原料では、すべてにおいて、原料段階で全数検査を行っております。

ガイドラインをもとに、原料別の検査手順、検査能力を定め製品に混入しないよう最善の管理を実施しております。



最新鋭X線検査機器

# 商品開発TOPICS（ヒット商品と開発の状況）

## 給食向けは2つのフレンズ

卵・乳・小麦を使用せずアレルギーに配慮した「フレンズミール」と「フレンズスイーツ」の2つのフレンズ。

環境や使い勝手に工夫を加えました。

おかずの「フレンズミール」では、揚げ済みのメンチカツを開発、調理場での油の使用（廃油）に配慮しました。カップごと食べられるグラタンは、カルシウム等の栄養価も付与してブラッシュアップしました。学校給食の栄養士様からも廃棄物が少ない、使い勝手が良いと好評をいただいております。



## 惣菜向けは「使い易さ」の追求

「おいしさ」と「使い易さ」をキーワードに、米飯分野を中心に様々な商品をラインナップしました。

牛丼の具やイベリコ豚重の具などの、温めるだけのワンポーション丼シリーズを一新。簡単オペレーションに、具材感アップなどの要素も加え、売り場のバリエーション増に寄与しました。

また、濃くて旨い！ソース焼そばは、濃厚Wソースに、決め手はマヨネーズ、隠し味でリンゴ果汁を使用。先味の濃さを、コクと切れで下支えし、食べ進めても飽きがこない商品設計で展開中です。



## 外食向け見た目と味へのこだわり

ピンクスポンジで、かわいい花型の桜あんも桜クリームを巻いたJG20カットロール（桜）が、春の訪れを感じさせる一品としてラインナップしました。白餡の甘さ、ホワイトチョコのコクに、桜味と桜葉塩漬の塩味を加えた後引くおいしさ、お客様からの支持の理由です。



## 病院・施設向けは栄養価の強化

病院や介護施設向けのムース食ブランド・スムースグルメでは、主菜と副菜をセットした「SGセットプラス」30品を、たんぱく質・エネルギーを強化してブラッシュアップしました。

さらに、高まるパン食のご要望にお応えし、「SGパンセット」8品を新たにラインナップしました。

食べる楽しさをいつまでも持ち続けられるよう、おいしさに加え、見た目の彩りや料理らしさにもこだわりました。



# 海外事業展開

## ジャパン・ベスト・フーズ

当社は総合商社の双日グループと共同出資で、ベトナムのホーチミン市に隣接するドンナイ省において、ジャパン・ベスト・フーズ（Japan Best Foods Co., Ltd.以下、JBF）を設立し、平成29年3月より稼働しております。

JBFは現地のコンビニエンスストア向けに、おにぎり・弁当・サンドウィッチ・サラダ・麺類等を供給しております。

日本レベルの品質管理システムを取り入れ、安全・安心で美味しい食品を供給しており、現地ユーザーからは高く評価されております。

今後はさらに売上を拡大し、ベトナムの中食産業を発展させてまいります。



JBFの外観



JBFにて製造している商品



社内保育園の遠足の様子



試作開発の様子

# 仕事と家庭の両立支援

当社では、少子化・高齢化・核家族化が進むなかで、仕事と家庭の両立支援は、継続的（長期化）就業を可能とするために重要であると認識しております。

## 社内保育園の運営

食品メーカーは一般的に女性従業員が多いといわれております。当社でも6割が女性で、特に生産現場は7割近くになります。

女性が働き出して、ようやく仕事を覚えた頃、出産・育児を理由に会社を辞めなければならないことは、本人にとっても会社にとっても大きな損失となり、なんとか仕事と子育てを両立できないかと当時の経営者は考えました。

「親と子どもは近くにいることで、お互いが安心する」という考えのもと、「ワークライフバランス」という言葉がなかった昭和44年に、世に先立ち事業所内託児所を開設し、現在は保育園として従業員の子育てを支援しております。

最近では、育児は「両親が協力して携わるもの」という考えのもと、男性職員に対して育休の取得を奨励する等、積極的に育児に参画できる環境づくりにも取り組んでおります。

## 女性の活躍

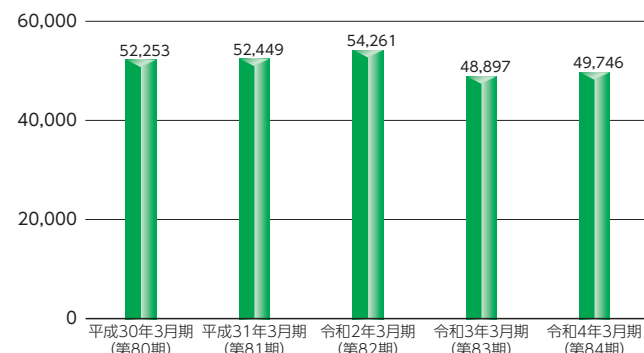
50年以上歴史のある社内保育園を持ち、従業員の子育てを積極的に支援する社内の風土があるため、女性が活躍していることも当社の特徴です。

女性活躍の指標である女性管理職比率が10%を超え、職場リーダーである係長は、40%近くが女性です。女性が働きやすい職場は、誰もが働きやすい職場であり、「いい会社」を目指して支援に力を入れています。

# 連結財務ハイライト

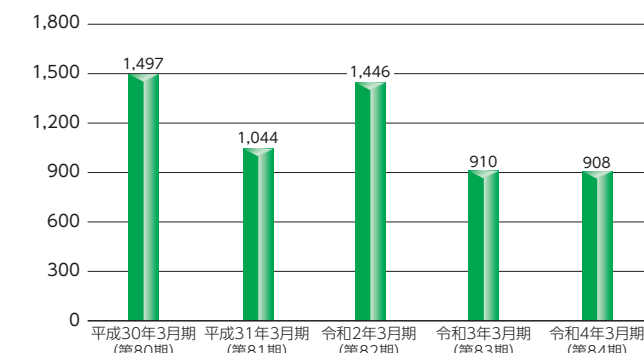
## ●売上高

(単位：百万円)



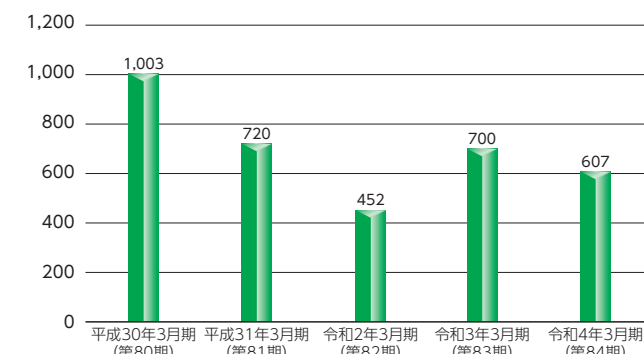
## ●経常利益

(単位：百万円)



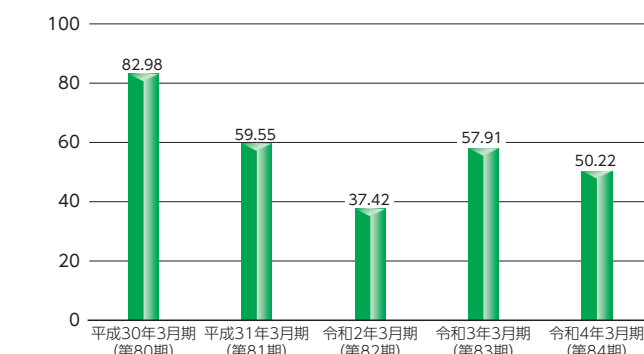
## ●親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



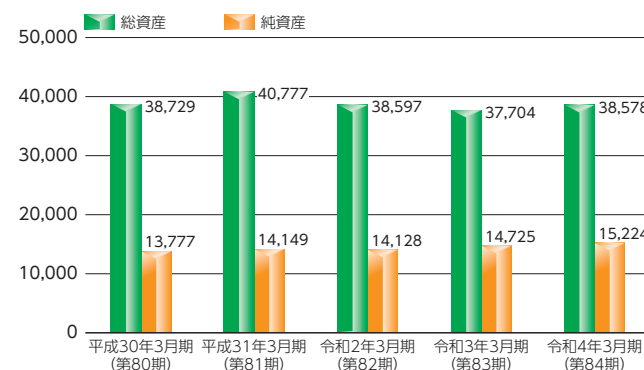
## ●1株当たり当期純利益

(単位：円)



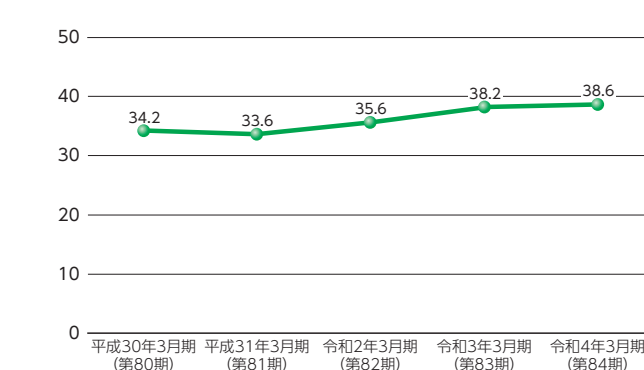
## ●総資産／純資産

(単位：百万円)



## ●自己資本比率

(単位：%)



# 連結財務諸表（要約）

## ●連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (令和4年3月31日現在)	前連結会計年度 (令和3年3月31日現在)	科目	当連結会計年度 (令和4年3月31日現在)	前連結会計年度 (令和3年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	19,248	17,959	流動負債	15,379	15,086
固定資産	19,330	19,744	固定負債	7,974	7,891
有形固定資産	14,398	14,840	負債合計	23,353	22,978
無形固定資産	309	248	(純資産の部)		
投資その他の資産	4,622	4,656	株主資本	14,796	14,334
資産合計	38,578	37,704	資本金	1,474	1,474
			資本剰余金	1,707	1,707
			利益剰余金	11,618	11,156
			自己株式	△ 4	△ 4
			その他の包括利益累計額	99	73
			非支配株主持分	328	317
			純資産合計	15,224	14,725
			負債・純資産合計	38,578	37,704

## ●連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	前連結会計年度 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
売上	49,746	48,897
売上原価	40,676	39,112
販売総利益	9,070	9,784
営業費及び一般管理費	8,226	9,041
営業利益	843	743
営業外収益	178	283
営業外費用	114	116
経常利益	908	910
特別利益	3	0
特別損失	55	78
税金等調整前当期純利益	855	831
法人税、住民税及び事業税	234	274
法人税等調整額	62	△ 101
当期純利益	558	658
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△ 48	△ 41
親会社株主に帰属する当期純利益	607	700

## ●連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)

(単位：百万円)

科目	株主資本						その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,474	1,707	11,156	△ 4	14,334	222	△ 21	△ 127	73	317	14,725	
当期変動額												
剰余金の配当			△ 145		△ 145						△ 145	
親会社株主に帰属する当期純利益			607		607						607	
自己株式の取得				△ 0	△ 0						△ 0	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△ 71	34	63	26	10	36	
当期変動額合計	—	—	462	△ 0	462	△ 71	34	63	26	10	499	
当期末残高	1,474	1,707	11,618	△ 4	14,796	150	13	△ 64	99	328	15,224	

## ●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	前連結会計年度 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,894	3,177
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 766	△ 1,352
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 653	△ 1,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	48	△ 3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	523	557
現金及び現金同等物の期首残高	2,918	2,360
現金及び現金同等物の期末残高	3,441	2,918

## 個別財務諸表（要約）

### ●貸借対照表

（単位：百万円）

科目	当事業年度 (令和4年3月31日現在)	前事業年度 (令和3年3月31日現在)	科目	当事業年度 (令和4年3月31日現在)	前事業年度 (令和3年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	18,456	17,594	流動負債	15,274	15,150
固定資産	17,825	18,274	固定負債	7,368	7,223
有形固定資産	13,814	14,285	負債合計	22,642	22,374
無形固定資産	308	247	(純資産の部)		
投資その他の資産	3,703	3,741	株主資本	13,499	13,285
資産合計	36,282	35,868	資本金	1,474	1,474
			資本剰余金	1,707	1,707
			利益剰余金	10,321	10,107
			自己株式	△ 4	△ 4
			評価・換算差額等	140	208
			純資産合計	13,640	13,494
			負債・純資産合計	36,282	35,868

### ●損益計算書

（単位：百万円）

科目	当事業年度 (自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日)	前事業年度 (自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日)
売上	42,377	48,529
売上原価	34,423	40,238
売上総利益	7,954	8,290
販売費及び一般管理費	7,418	7,717
営業利益	535	572
営業外収益	136	239
営業外費用	99	104
経常利益	572	706
特別利益	3	0
特別損失	55	78
税引前当期純利益	520	628
法人税、住民税及び事業税	90	179
法人税等調整額	69	△ 98
当期純利益	359	547

## 会社概要（令和4年6月24日現在）

- 商号 日東ベスト株式会社  
NittoBest Corporation
- 本社所在地 山形県寒河江市幸町4番27号
- 設立年月日 昭和23年7月
- 会社の目的
  - (1) 饅頭、缶詰ならびに食品の製造販売
  - (2) 冷凍食品、菓子類、乳製品及び清涼飲料水の製造、加工、売買及び輸出入
  - (3) 農産物、畜産物及び水産物の加工、売買及び輸出入
  - (4) 肥料、飼料及び油脂の製造及び売買
  - (5) 食品製造、加工及び販売に関連する機器の売買、貸与及び輸出入ならびに技術指導
  - (6) 金属缶の製造、売買及び輸出入
  - (7) 飲食店及び売店の経営
  - (8) 倉庫業
  - (9) 不動産賃貸業
  - (10) 化粧品、医薬部外品、美容及び健康関連商品等の企画、研究開発、卸売及び販売
  - (11) 上記各号に付帯及び関連する一切の事業
- 資本金 1,474百万円
- 従業員数 1,396名（臨時従業員331名は含まれておりません。）

### ●役員

- |         |             |
|---------|-------------|
| 代表取締役会長 | 大塚 沼田 一 彦   |
| 代表取締役社長 | 塚 田 庄 一郎    |
| 専務取締役   | 鈴 木 清 信     |
| 常務取締役   | 佐 藤 光 義     |
| 常務取締役   | 内 田 真 帆 子   |
| 常務取締役   | 長 瀬 信 秀 裕 夫 |
| 常務取締役   | 嵯 峨 邊 昭 秀 一 |
| 取締役     | 渡 松 田 企 雅   |
| 取締役     | 遠 藤 芳 徹     |
| 取締役     | 小 伊 藤 浩 志   |
| 取締役     | 坂 藤 明 夫     |
| 取締役     | 芝 内 田 哲 也   |
| 取締役     | 杉 生 沼 忍     |
| 取締役     | 黒 村 沼 憲     |
| 常勤監査役   | 石 山 塚 永 崇   |
| 監査役     | 小 野 村 秀 幸   |
- （注）取締役 黒沼 憲、村山 永の両氏は社外取締役であります。  
監査役 小野 クナ子、村山 秀幸の両氏は社外監査役であります。

### ●グループ事業所MAP



### ●株式の状況（令和4年3月31日現在）

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	12,102,660株
株主数	1,267名

### ●大株主（令和4年3月31日現在）

株主名	持株数（株）
日東ベスト取引先持株会	1,505,900
有限会社ウチダ・コーポレート	941,400
日東ベスト従業員持株会	684,400
農林中央金庫	605,010
株式会社山形銀行	600,000
株式会社ウチダ・ホールディングス	527,000
内田 淳	343,128
国分グループ本社株式会社	293,611
東洋製罐グループホールディングス株式会社	291,391
第一生命保険株式会社	230,000

## ◆ ホームページのご案内 ◆

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金及び中間配当金 配当金は毎年3月31日（ただし、中間配当を行う場合は9月30日）現在の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者にお支払いいたします。
- 公告掲載方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 公告掲載URL <http://www.nittobest.co.jp/>
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
みずほ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目3番3号  
みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部



<http://www.nittobest.co.jp/>